

日本キリスト教会信仰の告白（口語文）

わたしたちが主とあがめる神のひとり子イエス・キリストは、真の神であり真の人です。主は、神の永遠の計画にしたがい、人となって、人類の罪のため十字架にかかり、完全な犠牲をささげて贖いをなすとげ、復活して永遠のいのちの保証を与え、救いの完成される日までわたしたちのために執り成してください。

神に選ばれてこの救いの御業を信じる人はみな、キリストにあつて義と認められ、功績なしに罪を赦され、神の子とされます。また、父と子とともにあがめられ礼拝される聖霊は、信じる人を聖化し、御心を行わせてくださいます。この三位一体なる神の恵みによらなければ、人は罪のうちに死んでいて、神の国に入ることはできません。

旧・新約聖書は神の言であり、そのなかで語っておられる聖霊は、主イエス・キリストを顕らかに示し、信仰と生活との誤りのない審判者です。

教会はキリストのからだ、神に召された世々の聖徒の交わりであつて、主の委託により正しく御言を宣べ伝え、聖礼典を行い、信徒を訓練し、終わりの日に備えつつ、主が来られるのを待ち望みます。

古代の教会は、聖書によって次のように信仰を告白しました。わたしたちもまた、使徒的信仰の伝統にしたがい、讃美と感謝とをもってこれを共に告白します。

〈以下、使徒信条に続く〉



←礼拝ライブはフェイスブックから

週報はホームページにも掲載→



わたしは、天地の造り主、全能の父なる神を信じます。

わたしは、そのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、処女マリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府にくだり、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父なる神の右に座しておられます。そこから来て、生きている者と死んでいる者とを審かれます。

わたしは、聖霊を信じます。聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン

主の祈り

天にまします我らの父よ、
願わくは御名をあがめさせたまえ。
御国をきたらせたまえ。
御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧をきょうも与えたまえ。
我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、
我らの罪をも赦したまえ。
我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。
国とちからと栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

礼拝 毎日曜午前10:10より
日曜学校 毎日曜午前9:30より
祈り会 毎水曜午前10:30より
午後6:30より（今週は6:00より）

*キリスト教Q&A、教会の歴史講座など随時
*牧師との面談を希望される方はご連絡下さい。



週報

2025. 6. 8.
聖霊降臨日主日礼拝

すべての人に恐れが生じた。使徒たちによって多くの不思議な業とするしが行われていたのである。信者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、財産や持ち物を売り、おのおのの必要に応じて、皆がそれを分け合った。そして、毎日ひたすら心一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主はわれる人々を日々仲間に加えて一つにされたのである。

（使徒言行録2：43～47）

日本キリスト教会 札幌豊平教会

送金には、郵便局から振替口座のご利用を。 振替：02790-7-9082
口座名義：日本キリスト教会札幌豊平教会

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条3丁目5-15
電話 090-8863-7316

新メール contactch@ccj-toyohira.church

新HP <https://ccj-toyohira.church>



2025年6月8日 No.23
聖霊降臨日主日礼拝

司式 長老杉中一郎

奏 楽 大和田眞理子

招きの言葉：ヨハネ11：25b～26

■私は復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。

讃美歌 I-6

悔い改めの言葉：ローマ14：17

■神の国は、飲み食いではなく、聖霊によって与えられる義と平和と喜びなのです。

讃美歌 I-545

聖書 ローマ7：4～6①(新p282)

祈り

讃美歌 I-79

説教 「“聖霊”の御業のもとに」

牧師 稲生義裕

讃美歌 I-352

聖餐

讃美歌 I-205

信仰告白 使徒信条 (週報裏面)

献金

主の祈り (週報裏面)

頌栄 I-540

祝祷

アーメン三唱

後奏 (聴いた御言葉と派遣されて行く者としての理想を覚えて、各自黙祷を)

きょうの聖書

4 ところで、兄弟たち、あなたがたも、キリストの体に結ばれて、律法に対しては死んだ者とな

っています。それは、あなたがたが、他の方、つまり、死者の中から復活させられた方のものとなりこうして、わたしたちが神に対して実を結ぶようになるためなのです。

5 わたしたちが肉に従って生きている間は、罪へ誘う欲情が律法によって五体の中に働き、死に至る実を結んでいました。

6 しかし今は、わたしたちは、自分を縛っていた律法に対して死んだ者となり、律法から解放されています。その結果、文字に従う古い生き方ではなく、“霊”に従う新しい生き方で仕えるようになっているのです。

—2025年2月2日総会にて決議—
2025年度主題『つかえる・つながる・ひびきあう』
聖書 申命記6：4～5/ヨハネ14：19b～20

礼拝後 集合写真撮影 高校生以上の集い
6月定期小会

今週の集会

- ・9日(月)10:00 絵手紙G
- ・11日(水)10:00 ご近所さんとの健康作りの会
10:30 祈り会 I / 18:00 II (LINE 参加可能)
- ・12日(木) 9:30～/11:00～ガンバルーン体操教室
10:00～弁当調理(11:30 移動スーパー)13時頃食事会
18:00 演奏家練習
- ・13日(金)9:30 弁当準備(12:15 路上, 12:30 豊平+イートイン・札バプ・薄野ディバイディにて手渡し)

牧師の予定 (上記以外)

- ・本日 17:00～7・7 平和集会準備委員会
- ・9日(月)13:30 市民自治を創る会「戦後80年の市民自治を考える」小林久公氏
- ・13日(金)18:00～Peacedays2025 スタートアップミーティング「私にとっての“戦後”80年とは？」

・14日(土)12:00 食材運搬

次主日の予告 (2025年6月15日) 逝去者記念礼拝

礼拝 聖霊降臨後第1主日礼拝 (ライブ配信)

聖書 ローマ7：4～6② (新p282)

説教 「命である神のものとされて」

讃美歌 I-7, 545, 67, 353, 542

司式：長老秋葉聡志 奏楽：ハートマン純子

礼拝後 高校生以上の集い

14:00 札幌東部四教会合同墓前祈祷会

報告

- ・1日(日)礼拝出席 34, 子ども 0, 幼児 0, 陪餐 29
礼拝献金¥17,634 高校生以上の集い：10
- ・2日(月)星槎高校生の集い：23 (高校生 19)
- ・3日(水)祈り会 I：6 II：3
- ・5日(金)とよひら食堂 320(教会 147, 札バプ 120, 大通 20, 薄野ディバイディ 32, 配達 0, ボラ 12(1))。

お知らせ

*13日(金)18:00～22:00 Peacedays2025 スタートアップミーティング「私にとっての“戦後”80年とは？」エルプラザ4F中研修室

*15日(日)逝去者記念礼拝 (別紙参照)

14:00 札幌東部四教会合同墓前祈祷会・埋骨式

*17日(火)14:00～16:00 人権委員会公開学習会「宗教組織における境界の侵犯」～ハラスメントはなぜ起こるのか～櫻井義秀氏(日蓮宗僧侶、北大教授)

*22日(日)15:00～16:30 新緑の風と大地の歌

サクソフォンとパーカッションによる演奏の対話

*28日(土)16:00～17:30「北海道における宗教者の平和運動～神からの責任と応答」山本光一氏(旭川六条教会牧師) 北海道宗教者平和協議会主催

*30日(月)朝ごはん弁当

*7月1日(火)10:00～11:30 慰安婦問題オンライン学習会「フィリピン“従軍慰安婦”補償請求裁判訴状」の一部輪読 聖書から聞く (参加申込稲生まで)